

辻議員（共産）

令和元年 9 月 25 日
教育長 答弁 実録
（教育委員会）

（問）高等学校等入学準備金について

経済的に困難な状態にある子供の負担を軽減し、安心して高校に入学することができるよう、高等学校等入学準備金を給付型にすることを求めるが、教育長の所見を伺う。

（答）

経済的に困難な状況にある高校生等に対して様々な支援を行い、教育の機会均等を図っていくことは、重要であると考えております。

このため、これまでの入学後の奨学金に加え、入学前の支援策として、制服や教科書などの購入に活用できる入学準備金の創設を提案しているところでございます。

高校生等への経済的支援の考え方といたしましては、高校教育は義務教育とは異なり、修学に係る経費は自己負担が原則であること、また、高等学校への入学に必要な経費の一部につきましては、既に国の制度を活用し一定の給付を行っていることから、入学準備金は貸与型としております。

今後とも、既存の制度の周知を図るとともに、生徒の希望する進路を実現するための教育施策につきましては、必要な取組を検討してまいりたいと考えております。